

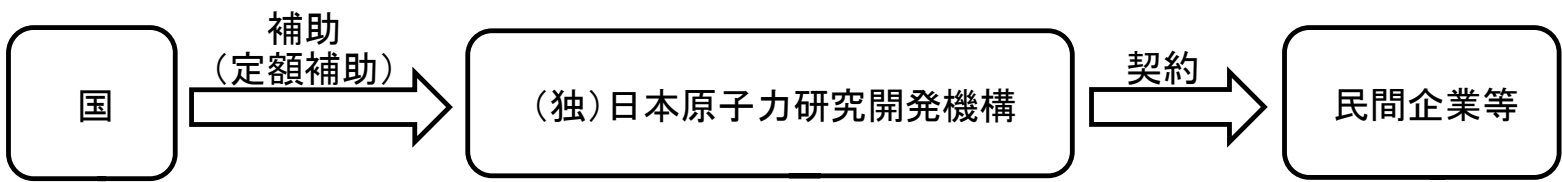
① 施策の目的

我が国のエネルギー問題を解決し、将来の基幹的エネルギー源として期待される核融合エネルギーの実現に向け、高性能核融合実験装置JT-60SAにおける研究開発を進めることにより、将来的な資源・エネルギーの安定供給に貢献する。

② 施策の概要

高性能核融合実験装置(JT-60SA)の建設に必要な超伝導コイルの組立や超伝導機器の製作等を加速することにより、電気や機械などの受注企業の雇用増加や内需拡大に繋げるとともに、将来の基幹的エネルギー源として期待される核融合エネルギーの研究開発を促進し、将来的な資源・エネルギーの安定供給に資する。

③ 施策のスキーム、実施要件(対象、補助率等)、成果イメージ等



JT-60SA計画：日・欧が協力してJT-60SAを建設し、実験炉ITERではできない実験を通じ、核融合エネルギーの実現に向けて先進的運転手法を確立する国際協力プロジェクト。2019年運転開始を予定。

- JT-60SAは、核融合エネルギーの実現に必要な高性能プラズマを安定に制御する研究ができる世界唯一の超伝導トカマク装置。
- JT-60SAにおいてITERではできない先進的な実験を行い、核融合原型炉に向けた技術基盤を構築することで将来的な資源・エネルギーの安定供給に貢献。



超伝導コイルの組立や超伝導機器の製作等により JT-60SA計画を加速

■本事業の実施により、将来的な資源・エネルギーの安定供給に資するとともに、関連企業の雇用増加や内需拡大が期待され、平成27年度に15億円程度の需要創出と260人規模の雇用創出※を想定。

※：産業連関表(総務省統計局)を参考に試算